

本町通り 流雪溝 流量増加等に向けた改善(要望)

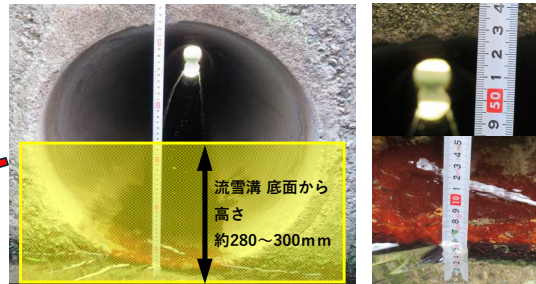
2025年 8月 12 日(要望)

作成：大野地区区長会第 6 地区

協力：地域課題解決検討会プロジェクトチーム

東西 貫通水路

東西 貫通水路 (3カ所)



貫通水路 内径φ500mm

流雪溝底面から貫通水路底面の差
約30mm高

現状、問題点・貫通水路の下流に排雪すると、流雪溝が堰き止められて、貫通水路を通じて対側への流出入する。
・雪が多い時は、西側流雪溝に連続して数日間堆雪し、排雪できない。(2022年2月・2024年2月他)

改善① 流雪溝の水が対側へ流入しないよう、西側 貫通水路に「高さ半分程度」の止水板を取付
⇒ 増水時の浸水防止機能の維持・土砂堆積防止を考慮し、片方(西側)のみに、
流雪溝 底面から高さ 約280～300mmの止水板を取付・・・水量が少ない西側の流出防止

効果：流雪溝底面から約300mmは水の流下を確保・・・連日に及ぶ 堆雪の解消

城町ポンプ排水口



現状、問題点・城町ポンプ配管ルートは、本町通り西側(T字路 ハンドホール有) から六間通りへ通じている。
・六間通りの城町ポンプ排水口からの一部は、本町通り東側へ流下するが、西側に直接流下しない。
・本町通り西側に直接流れる分水ルートが無い。また、三番通り等は何度も浸水する箇所がある。
・城町ポンプ水源の河川水は枯渇することがある。(2025年2月実績：約 1.5 日間でポンプ停止)

改善② 本町通り 西側 流雪溝のハンドホール付近または六間通り付近に、西側流下バルブ・配管を設置

効果：大雪時、本町通り西側の排雪困難の解消 および 除雪負担の軽減 (高齢者を含む)

改善③ 城町ポンプの水源 (連続 約 1.5 日(2025年2月)) は豊富で無いため、ポンプ自動制御を向上
(1) 多くの降雪が予想される場合に自動運転 (条件案：連続降雪 2～3 時間+復帰保持 約24時間)
(2) 3 時～8 時、1 6 時～2 1 時の朝・夕時間帯で、間欠運転 (案：10分運転-15分停止など)
⇒ 自動運転・間欠運転により、節水時間および貯水時間を設け、水源確保の長期化を図る

効果：タイマー制御による間欠運転 および 特に多くの方が除雪する時間帯での運転による効率的な運用
(カレンダー制御を行うことで、休日の除雪頻度が多い昼間の時間帯にポンプ運転も可能)
城町ポンプ運転・停止の自動制御化により、操作等のための職員対応の軽減 (休日対応含む)

観光交流課 所管

「羽二重伝習所跡」止水板



土砂流入防止用 止水板

改善⑥ 冬期のみ、止水板の開放
(土砂流入防止対策のため、他期は閉止)

効果：分水防止の代替による水量確保
(「水のがっこう」北東側)

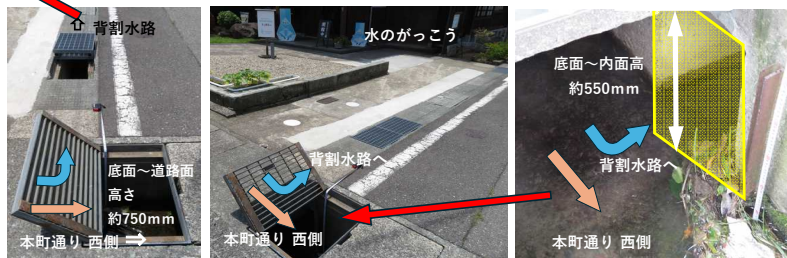
沈砂池 (分水樹)



改善⑤ ゴミ掛り防止 半月板の取付

効果：ゴミによる西側向けの水量減少防止
(分水量の偏り回避)

分水 (「水のがっこう」北東側)



現状、問題点・分水箇所(西側)の下流に排雪すると、雪で堰き止められて、背割水路へ流出してしまう。
水路が比較的小さいため、少量の排雪でも、すぐに背割水路へ流出してしまう。
・水のがっこう側道～背割水路の間に民家は無く、駐車場(暗渠)に続いている。

改善④ 分水箇所から背割水路へ流出しないよう、底面から高さ 約550mmの止水板を取付

効果：本町通り西側流雪溝の水量減少防止、水量確保による消雪困難の軽減 (高齢者を含む)

現行対策の継続お願い・・・市役所から周辺住民へ、分水ゲートの開放により、下流の除雪に支障が生じている旨の文書の発信 (2025年2月 発信)

効果：本町通り流雪溝の水量激減の未然防止 および 水量確保による排雪困難の解消